



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社 ハーバー研究所
コード番号 4925 URL <https://www.haba.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮崎 一成
問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務・経理部担当 (氏名) 高崎 明彦
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-5296-6250

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,569	7.8	290		288		215	
2023年3月期第1四半期	2,787	8.0	212		212		140	

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 214百万円 (%) 2023年3月期第1四半期 139百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	56.87	
2023年3月期第1四半期	37.21	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	13,979	10,408	74.5
2023年3月期	14,655	10,773	73.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 10,408百万円 2023年3月期 10,773百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		40.00	40.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	12.1	390		400		250		66.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	3,935,000 株	2023年3月期	3,935,000 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	153,481 株	2023年3月期	153,481 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	3,781,519 株	2023年3月期1Q	3,781,519 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2024年3月期第1四半期決算短信より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の沈静化傾向が続く中、5月には感染症法上の分類引下げやマスク着用の緩和といった対策も打ち出され、新型コロナウイルス感染症の生活・経済への影響は大きく軽減しております。また、訪日外国人数は、コロナ禍の沈静化・円安を背景に増加基調にあり、インバウンド需要の回復も国内景気を押し上げています。一方で、2022年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻は長期化しており、世界的な資源・エネルギー価格の上昇、インフレ、金利の上昇など、経済活動への影響と先行き不透明感が継続しております。さらに、足元では物価上昇に賃金の伸びが追いつかない実質賃金のマイナスが続いており、生活防衛意識の高まりによる個人消費の減速リスクなど、先行きは依然不透明な状況にあります。

当社グループにおきましては、国内市場は生活防衛意識の高まりによる個人消費の減速リスクの影響を受けているものの、店舗販売はインバウンドを中心に回復傾向にあり、またECは対前年比で増加しております。海外市場は輸出の大半を占める中国の薬事関連規制がより厳しさを増し、受注回復は第2四半期以降にずれ込んでおります。

こうした中、当社グループでは、中期経営計画（2023年3月期～2025年3月期）に基づいた事業活動を推進しており、中長期的な視点から持続的成長と企業価値向上に向けた収益基盤の構築を目指し、ロイヤルティの向上・LTV（顧客生涯価値）の最大化、IT基幹システム、環境に配慮した研究開発について優先的に取り組み、ブランド価値の向上に努めております。

具体的には、2022年11月には通信販売と百貨店のポイントサービスの統一化を実施し、顧客の利便性を向上させております。また、当社は本年5月に創業40周年を迎え、40周年を記念し“ディズニー100”デザインの『スマイルフレンズ スクワランセット』、『スマイルフレンズ UVキッズジェルセット』を通信販売および全国のショップハーバーにて数量限定で発売（2023年7月20日より）しております。これらを通じて積極的な事業基盤の構築を目指しております。

このような状況の下、当第1四半期連結累計期間の当社グループ連結売上高は、2,569,673千円（前年同四半期比7.8%減）となりました。

品目別売上の基礎化粧品は1,653,692千円（同13.5%減）、メイクアップ化粧品は217,108千円（同22.6%増）、トイレットリーは151,833千円（同9.9%増）、健康食品・雑貨等は543,517千円（同2.1%減）となりました。

販売ルート別売上では、通信販売（EC含む）が1,551,911千円（同0.7%減）、百貨店向卸売は268,147千円（同13.8%増）、その他卸売602,025千円（同30.0%減）、直営店147,589千円（同13.8%増）となりました。

売上原価は、830,288千円（同3.6%減）となりました。販売費及び一般管理費は、広告宣伝・販売促進費が683,996千円（同6.8%減）、その他経費が1,346,322千円（同4.1%減）、合計で2,030,319千円（同5.0%減）となりました。

これらの結果、営業損失は290,934千円（前年同四半期は営業損失212,472千円）、経常損失は288,217千円（前年同四半期は経常損失212,896千円）、法人税等調整額△98,783千円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は215,050千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失140,692千円）となっております。

品目別売上

（単位：千円）

区分		前第1四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）		当第1四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
化粧品	基礎化粧品	1,912,481	68.6	1,653,692	64.4	△258,789	△13.5
	メイクアップ化粧品	177,066	6.3	217,108	8.4	40,042	22.6
	トイレットリー	138,114	5.0	151,833	5.9	13,718	9.9
	その他（注）1	4,489	0.2	3,521	0.1	△967	△21.5
	小計	2,232,152	80.1	2,026,156	78.8	△205,995	△9.2
健康食品・雑貨等		555,027	19.9	543,517	21.2	△11,509	△2.1
化粧品・健康食品等 小計		2,787,179	100.0	2,569,673	100.0	△217,505	△7.8
その他（注）2		11	0.0	0	0.0	△11	△100.0
合計		2,787,190	100.0	2,569,673	100.0	△217,517	△7.8

（注）1. 期間を限定して提供するキャンペーンセット品等が主なものです。

2. カルチャーセンター等の売上が主なものです。

販売ルート別売上

(単位：千円)

区分		前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
販売 ルート	通信販売 (EC含む)	1,562,090	56.0	1,551,911	60.4	△10,178	△0.7
	百貨店向卸売	235,583	8.5	268,147	10.4	32,563	13.8
	その他卸売	859,818	30.8	602,025	23.4	△257,792	△30.0
	直営店	129,687	4.7	147,589	5.8	17,901	13.8
	合計	2,787,179	100.0	2,569,673	100.0	△217,505	△7.8

(注) 1. 上記の合計表は、「品目別売上」の「化粧品・健康食品等 小計」売上に対して記載しています。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比較して700,197千円減少し、8,643,526千円となりました。これは主に、商品及び製品が増加したものの、現金及び預金が減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比較して24,943千円増加し、5,336,437千円となりました。これは主に、繰延税金資産が増加したことによるものです。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比較して123,742千円減少し、2,674,665千円となりました。これは主に、未払金が増加したものの、買掛金及び未払法人税等が減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比較して186,222千円減少し、896,941千円となりました。これは主に、長期借入金が返済により減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比較して365,288千円減少し、10,408,356千円となりました。これは主に、利益剰余金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月11日に公表しました連結業績予想に変更はありません。なお、新型コロナウイルス感染症の影響は未だ不確実性もあり、今後の状況により、連結業績予想を修正する必要がある場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,817,842	3,757,285
売掛金	987,265	941,414
商品及び製品	1,408,642	1,725,618
仕掛品	69,062	56,568
原材料及び貯蔵品	1,890,533	1,845,929
その他	182,392	328,085
貸倒引当金	△12,014	△11,374
流動資産合計	9,343,724	8,643,526
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,034,728	5,044,196
減価償却累計額	△2,689,455	△2,717,208
建物及び構築物 (純額)	2,345,272	2,326,988
機械装置及び運搬具	1,931,923	1,775,226
減価償却累計額	△1,653,864	△1,535,172
機械装置及び運搬具 (純額)	278,058	240,053
工具、器具及び備品	1,251,732	1,304,111
減価償却累計額	△1,082,605	△1,087,987
工具、器具及び備品 (純額)	169,126	216,124
土地	1,573,134	1,573,134
建設仮勘定	86,742	1,683
有形固定資産合計	4,452,335	4,357,983
無形固定資産		
ソフトウェア	301,388	320,687
その他	14,379	14,364
無形固定資産合計	315,768	335,052
投資その他の資産		
投資有価証券	7,047	8,521
繰延税金資産	235,244	334,778
差入保証金	270,437	270,435
その他	39,118	38,123
貸倒引当金	△8,457	△8,457
投資その他の資産合計	543,389	643,400
固定資産合計	5,311,493	5,336,437
資産合計	14,655,217	13,979,963

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	475,685	369,319
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	801,091	780,367
未払金	680,082	800,094
未払法人税等	162,671	26,010
未払消費税等	26,601	34,617
契約負債	347,844	341,362
その他	104,431	122,893
流動負債合計	2,798,408	2,674,665
固定負債		
長期借入金	1,031,752	845,514
その他	51,411	51,427
固定負債合計	1,083,163	896,941
負債合計	3,881,572	3,571,607
純資産の部		
株主資本		
資本金	696,450	696,450
資本剰余金	812,570	812,570
利益剰余金	10,398,693	10,032,381
自己株式	△1,135,943	△1,135,943
株主資本合計	10,771,770	10,405,458
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,875	2,898
その他の包括利益累計額合計	1,875	2,898
純資産合計	10,773,645	10,408,356
負債純資産合計	14,655,217	13,979,963

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,787,190	2,569,673
売上原価	861,488	830,288
売上総利益	1,925,702	1,739,384
販売費及び一般管理費	2,138,175	2,030,319
営業損失(△)	△212,472	△290,934
営業外収益		
受取利息	11	0
受取配当金	98	108
受取賃貸料	207	207
未払配当金除斥益	481	446
還付加算金	37	—
助成金収入	—	※ 1,639
受取保険金	—	1,172
その他	888	640
営業外収益合計	1,724	4,213
営業外費用		
支払利息	1,619	1,406
その他	528	90
営業外費用合計	2,148	1,497
経常損失(△)	△212,896	△288,217
特別利益		
固定資産売却益	—	5,106
助成金収入	※ 13,924	—
特別利益合計	13,924	5,106
特別損失		
固定資産売却損	—	8,200
固定資産除却損	0	2,413
特別損失合計	0	10,614
税金等調整前四半期純損失(△)	△198,972	△293,725
法人税、住民税及び事業税	21,384	20,108
法人税等調整額	△79,664	△98,783
法人税等合計	△58,280	△78,675
四半期純損失(△)	△140,692	△215,050
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△140,692	△215,050

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△140,692	△215,050
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△145	1,023
為替換算調整勘定	1,352	—
その他の包括利益合計	1,206	1,023
四半期包括利益	△139,485	△214,027
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△139,485	△214,027
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

一部の連結子会社においては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り）

新型コロナウイルス感染症において、5月には感染症法上の分類が5類に引下げられ、経済活動は徐々に回復に向かう事が予想されます。これにより、新型コロナウイルス感染症の影響は緩やかに減少していくとの仮定を置き、会計上の見積りを行っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響は未だ不確実性もあり、今後の状況により、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を与える場合があります。

（四半期連結損益計算書関係）

※ 助成金収入

営業外収益に計上されている助成金収入は障害者雇用調整金等であり、特別利益に計上されている助成金収入は雇用調整助成金（新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例）であります。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年6月30日）

当社グループは、化粧品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。